



# 燃費テスト報告書 「馬力向上」さらに「燃費改善」

PAE-054/054ST/055/055ST  
ヴォクシー/ノア 2.0 2WD  
DBA-ZRR80W  
※下記は4本出し PAE-055 シリーズのデータです。

**出発地点** 一般道路 → **高速道路** **往路** → 一般道路 → **登坂道路**

対比のためマフラー交換後、再度走行

給油後、一般道路からスタート。 → 同一速度での走行厳守。 → 山まで、しばらく一般道路。 → マフラーの威力を発揮する連続した登り坂。

**到着地点** 到着ポイント

決められたスタンドで、同じ給油条件で燃費計測。

中間ポイント 中間地点

頂上で、一休憩。

高速道路を降りて一般道路へ。 → 一般道路 → **高速道路** **復路** → 一般道路 → **降坂道路**

ここでも同一速度をキープ。 → 山を降りて、しばらく一般道路。 → 下り坂も同一ペースで走行。

ヴォクシー/ノア 用  
馬力向上・燃費改善マフラー  
左右4本出し 燃費改善率13.0%

総走行距離 145.9km

一般道路 30.8km (21.1%)  
高速道路 91.8km (62.9%)  
山間道路 23.3km (16.0%)

※右ダブル出し PAE-054 シリーズはホームページをご覧ください。

各種測定データ (社内データ)	パワー (ps)	トルク (kgf・m)	71ドリング音量 (dB)	近接音量 (dB) 2500rpm 時	重量 (kg)
ノーマルマフラー	149.1	19.7	55.0	85.0	6.1
P.B.Sマフラー	156.5	20.7	56.0	85.0	11.0
ノーマル対比	+7.4	+1.0	+1.0	±0.0	+4.9

燃費対比テストデータ (社内データ)	テスト日	天候	走行距離 (km)	給油量 (L)	燃費改善率
ノーマルマフラー	2014/5/27	曇り	145.9	10.49	...
P.B.Sマフラー	2014/5/27	晴れ	145.9	9.28	13.0% 改善

PAE-055シリーズ (社内データ) P.B.S効果のデータです。

※1 P.B.S(パワーブーストシステム)の詳細は、弊社ホームページをご覧ください。

開発者のコメント

- ヴォクシー/ノア 2.0 専用のマフラーにおいては、低回転から粘りのあるトルクと、高回転までストレスなく続くパワー感を重視しました。
- 3ZR-FAEエンジンを搭載するZRR80Wは、もともと燃費が良い設計である為、燃費改善率を上げるのに、幾度となく設計変更を行い、正確なデータを出すのに走行テストを何度も繰り返しました。

※ データは、当社シャーンダイナモでの計測値です。  
※ ノーマルマフラーのデータ値は、車両個体差・気温・気候等の条件により、メーカーカタログ公表値とは異なる場合があります。  
※ 比較データ値は、全て同じ条件下で計測しています。

## ● 当社実走行燃費比較テスト内容

お客様ご自身で検証を行う際は、下記ポイントを参考にして行って下さい。

### ① テスト環境

(強風・雨・渋滞では中止)

悪天候の時はダメ  
同じコンディションで  
測定しています。

- 同じ気温・気象条件で行っています。
- 強風・雨天などの悪天候、朝夕のラッシュ時を避け、同じ条件の日に実施。
- ➡ 途中で渋滞や強風が発生したら中止し、初めからやり直します。

### ② 走行条件

(距離・速度を適正に保つ)

一般道や高速道路や  
山道をおりませています。

- 【走行距離】当社参考データ  
一般道31km(約21%)  
高速道路92km(約63%)  
山道(登り・下り)23km(約16%)  
※一般道のみでの走行や距離が短すぎる場合、測定精度が落ちます。
- 【速度設定】当社参考データ  
一般道及び山道は、交通法規に準じ、流れに合わせます。  
高速道路は、法定速度にて巡航。

### ③ 満タン法

(同じ給油条件)

車両のタイヤ位置と  
向きを同一にし、  
同じ油面で給油して  
います。

- 燃費対比テストは最も正確と思われる「満タン法」で行っています。
- ※給油時の注意  
同一のスタンドにて、同じ車両の向き、同じタイヤ位置で停車し、同じ油面で正確に給油し計測しています。

- 走行距離 (km) ÷ 給油量 (L) = 燃費 (km/L)
- ➡ 満タン給油時にオドメーターをリセット。

### ④ 運転方法

(加速度と所要時間が同じであることが大事な条件)

ノーマルで50km/hまでの  
加速時間が50秒の時、  
P.B.Sマフラーの時も  
同じ50秒で加速しています。

- 同じ距離を、同じ加速、同じスピード、同じ所要時間でテストしています。
- 【良い例】例えば、ノーマルで50km/hまでの加速時間が50秒の時、P.B.Sマフラーの時も同じ50秒かけて加速するのが比較条件。
- 【悪い例】加速が早く、所要時間が短くなった場合、アクセルを踏み込み過ぎているので比較テストになりません。
- ➡ 省エネ効果が得られません。

## ● このP.B.Sマフラー全ての機能及びそのデータは、ノーマル仕様車を基準としてセッティングしてあります。

取付前のご注意 本製品の取り付けにあたり、下記事項に関しましては弊社では一切の責任を負いかねます。

- お客様 (第三者を含む) が本製品の誤った使用により、取り付けやその使用中 / その他不具合から生じた事故・故障・破損・お客様または第三者への損害。
- 尚、お取り付け後の製品は、返品・クレーム等の対象外となる場合がございます。

表記データは、上記コース及び条件で  
実走行にて計測した結果です。